

1年英語 (MYP2 Language Acquisition) 【英語：4単位】

科目のねらい

MYP言語習得の指導と学習のねらいは、以下を達成することです。

- ・ 母語と自己の文化的遺産を維持しながら、付加言語に習熟する。
- ・ 多様な言語と文化的遺産に対する敬意と理解を身につける。
- ・ さらなる言語学習、また学習、就労、余暇などさまざまな実際の場面や、多様な受け手と目的に対応するために必要なコミュニケーションスキルを身につける。
- ・ マルチメディアやさまざまなコミュニケーションの伝達様式などの幅広い学習ツールを使用してマルチリテラシーのスキルを身につける。
- ・ さまざまな文学テキストおよび非文学テキストを鑑賞できるようになり、批判的かつ創造的な方法で意味の構築と解釈ができるようになる。
- ・ 思考、振り返り、自己表現、および他の科目の学習のための原動力として言語を認識、活用し、読み書きの能力を向上させるツールとしても活用できるようになる。
- ・ 言語の本質と、言語的、文化的、社会的要素から成る言語学習のプロセスを理解することができるようになる。
- ・ 言語が使用されているコミュニティの文化的特徴を理解できるようになる。
- ・ 自己の文化や異なる文化をもつ人のものの見方への意識と理解を養うことで、自己やその他のコミュニティへの参加と行動につながる。
- ・ 言語学習への興味、探究、および生涯にわたる関心、また言語の習得における喜びを養う。・ 自分と他者の研究成果を批判的に振り返る力を養う。

目標および評価基準

MYP 評価観点	
A：聞くこと	i. 明示的および暗示的な情報（事実、意見、メッセージ、裏づけとなる詳細）を特定できる。
	ii. 表現技法を分析できる。
	iii. つながりを分析できる。
B：読むこと	i. 明示的および暗示的な情報（事実、意見、メッセージ、裏づけとなる詳細）を特定できる。
	ii. 表現技法を分析できる。
	iii. つながりを分析できる。
C：話すこと	i. 広範囲の語彙を使用できる。
	ii. 広範囲の文法的構造をたいてい正確に使用できる。
	iii. 明確な発音と抑揚を用いてわかりやすく話せる。
	iv. 必要なすべての情報を明確かつ効果的に伝達できる。
D：書くこと	i. 広範囲の語彙を使用できる。
	ii. 広範囲の文法的構造をたいてい正確に使用できる。
	iii. さまざまなシンプルおよび少し複雑な接続表現を使用して、的確な形式で効果的にわかりやすく情報を整理できる。
	iv. 文脈に合うように、受け手と目的をはっきりと意識したうえで、必要なすべての情報を伝達できる。

※ねらい・目標の記述は、IBO発行の「MYP Language Acquisition Guide」に基づいています。

関連概念（言語習得の学習を通して、生徒は以下の概念についても考えます）第1～第2段階

1-2	受け手	形式	メッセージ	目的	文脈	機能
	パターン	構造	表現技法	意味	発音	言葉の選択
3-4	受け手	機能	視点	文脈	イディオム	目的
	表現技法	意味	構造	共感	メッセージ	言葉の選択
5-6	主張	共感	目的	受け手	イディオム	スタイル選択
	バイアス	推測	推測テーマ	文脈	視点	ヴォイス

年間計画

時期	ユニット	1. 重要概念 2. グローバルな文脈 3. ATL	学習内容・教材等	総合的評価課題の MYP 評価観点 (【 】内) および課題概要と 評価方法	1. 学習指導要領観点との対応 2. 道徳内容項目とのつながり
前期 (4月～9月)	1	1. コミュニケーション 2. 個人的・文化的表現 3. コミュニケーションスキル・社会性スキル	Topic "Nice to meet you." 学習指導要領との関連性【2内容〔知識及び技能〕より】 ア 音声(ア)現代の標準的な発音(ウ)語や句、分における基本的な強勢 ウ 語、連語及び慣用表現(ア) 単語(主に自己紹介に関わるもの〔趣味、年齢〕、人を表す形容詞、be動詞と一般動詞)(ウ)慣用表現 エ 文、文構造及び文法事項(イ)文構造(イ)文構造 a 主語+動詞+補語 b 主語+動詞+目的語のうち(a)の動名詞と to 不定詞(I like to play piano/playing piano)(ウ)文法事項 a(a)人称や指示、数量を表すもの b 接続詞 and と but d 前置詞(to) e 動詞の時制及び相など 現在形 g to 不定詞 h 動名詞	動画を視聴し、その内容について理解し、自分の考えを述べる【A】 インタビュー形式で自己紹介及び他己紹介をする【C】 ペンパルの手紙を読み、その内容について理解し、自分の考えを述べる【B】 「筆記テスト」 ペンパルに手紙を書く【D】	1. ①知識・技能-A/B ②思考・判断・表現-C ③主体的に学習に取り組む態度-D 2. A-1
	2	1. 文化 2. アイデンティティと関係性 3. コミュニケーションスキル・自己管理スキル	Topic "My Day" 学習指導要領との関連性【2内容〔知識及び技能〕より】 ア 音声(イ)語と語の連結による音変化(エ)文における基本的なイントネーション(オ)文における基本的な区切り ウ 語、連語及び慣用表現(ア) 単語(主に日常生活に関わるもの、順番や時を表す接続表現〔before〕)(イ)連語(ウ)慣用表現(have lunch など) エ 文、文構造及び文法事項(ア) a 重文、複文(イ)文構造 a 主語+動詞+補語(ウ)文法事項 d 前置詞(時間に関するもの at/from-until/for) by e 動詞の時制及び相など 現在形	動画を視聴し、その内容について理解し、自分の考えを述べる【A】 英文を読み、その内容について理解し、自分の考えを述べる【B】 「スピーチ」 自分の日常生活について紹介する【C】	1. ①知識・技能-A ②思考・判断・表現-B ③主体的に学習に取り組む態度-C 2. C-18
	3	1. 創造性 2. アイデンティティと関係性 3. コミュニケーション・社会性・リサーチ・思考	Topic "My town" 学習指導要領との関連性【2内容〔知識及び技能〕より】 ア 音声(ウ)語や句、文における基本的な強勢 ウ 語、連語及び慣用表現(ア) 単語(主に旅行に関するもの〔道案内、勧める方法〕、ものや場所を表す形容詞、度合いの副詞〔very, a little〕、冠詞、順番を表す接続表現〔first, then〕等)(イ)連語(主に道案内に関わるもの)(ウ) 慣用表現(get on, take the bus など) エ 文、文構造及び文法事項(ア) 文 a 重文、複文(イ)文構造 a 主語+動詞+補語(It's a festival. It's fun.) (ウ)文法事項 b 接続詞(because) c 助動詞(can, should) d 前置詞(場所に関するもの at/in/on) e 動詞の時制及び相など 現在形	オーディオテキストを聞いて、その内容について理解し、自分の考えを述べる【A】 「パンフレット作成」ある地域について紹介する。ライティングテスト。【D】	1. ①知識・技能-D ②思考・判断・表現-D ③主体的に学習に取り組む態度-A 2. C-16
後期 (12月～3月)	4	1. コミュニケーション 2. 空間的・時間的位置づけ 3. コミュニケーションスキル・自己管理スキル・思考スキル	Topic "My Story" 学習指導要領との関連性【2内容〔知識及び技能〕より】 ア 音声(エ)文における基本的なイントネーション(オ)文における基本的な区切り ウ 語、連語及び慣用表現 (ア) 単語(規則・不規則動詞の過去形、時を表す接続表現〔When-〕等) エ 文、文構造及び文法事項(ア) 文 a 複文(イ)文構造 a 主語+動詞+補語 b 主語+動詞+目的語のうち(a)の動名詞と to 不定詞(I liked to play piano/playing piano)(ウ)文法事項 c 助動詞(going to / will) e 動詞の時制及び相など 過去形 助動詞などをを用いた未来表現(going to/will)	インタビュー形式で経験したことを説明したり、現在と将来の自分につなげたりする【C】	1. ①知識・技能-C ③主体的に学習に取り組む態度-C 2. A-3

2年英語（MYP3 Language Acquisition）【英語：4単位】

科目のねらい

MYP言語習得の指導と学習のねらいは、以下を達成することです。

- ・ 母語と自己の文化的遺産を維持しながら、付加言語に習熟する。
- ・ 多様な言語と文化的遺産に対する敬意と理解を身につける。
- ・ さらなる言語学習、また学習、就労、余暇などさまざまな実際の場面や、多様な受け手と目的に対応するために必要なコミュニケーションスキルを身につける。
- ・ マルチメディアやさまざまなコミュニケーションの伝達様式などの幅広い学習ツールを使用してマルチリテラシーのスキルを身につける。
- ・ さまざまな文学テキストおよび非文学テキストを鑑賞できるようになり、批判的かつ創造的な方法で意味の構築と解釈ができるようになる。
- ・ 思考、振り返り、自己表現、および他の科目の学習のための原動力として言語を認識、活用し、読み書きの能力を向上させるツールとしても活用できるようになる。
- ・ 言語の本質と、言語的、文化的、社会的要素から成る言語学習のプロセスを理解することができるようになる。
- ・ 言語が使用されているコミュニティの文化的特徴を理解できるようになる。
- ・ 自己の文化や異なる文化をもつ人のものの見方への意識と理解を養うことで、自己やその他のコミュニティへの参加と行動につながる。
- ・ 言語学習への興味、探究、および生涯にわたる関心、また言語の習得における喜びを養う。・ 自分と他者の研究成果を批判的に振り返る力を養う。

目標および評価基準

MYP 評価観点	
A：聞くこと	i. 明示的および暗示的な情報（事実、意見、メッセージ、裏づけとなる詳細）を特定できる。
	ii. 表現技法を分析できる。
	iii. つながりを分析できる。
B：読むこと	i. 明示的および暗示的な情報（事実、意見、メッセージ、裏づけとなる詳細）を特定できる。
	ii. 表現技法を分析できる。
	iii. つながりを分析できる。
C：話すこと	i. 広範囲の語彙を使用できる。
	ii. 広範囲の文法的構造をたいてい正確に使用できる。
	iii. 明確な発音と抑揚を用いてわかりやすく話せる。
	iv. 必要なすべての情報を明確かつ効果的に伝達できる。
D：書くこと	i. 広範囲の語彙を使用できる。
	ii. 広範囲の文法的構造をたいてい正確に使用できる。
	iii. さまざまなシンプルおよび少し複雑な接続表現を使用して、的確な形式で効果的にわかりやすく情報を整理できる。
	iv. 文脈に合うように、受け手と目的をはっきりと意識したうえで、必要なすべての情報を伝達できる。

※ねらい・目標の記述は、IBO発行の「Language Acquisition Guide」に基づいています

関連概念（言語習得の学習を通して、生徒は以下の概念についても考えます）第1～第2段階

1-2	受け手	形式	メッセージ	目的	文脈	機能
	パターン	構造	表現技法	意味	発音	言葉の選択
3-4	受け手	機能	視点	文脈	イディオム	目的
	表現技法	意味	構造	共感	メッセージ	言葉の選択
4-5	主張	共感	目的	受け手	イディオム	スタイル選択
	バイアス	推測	推測テーマ	文脈	視点	ヴォイス

年間計画

時期	ユニット	1. 重要概念 2. グローバルな文脈 3. ATL	学習内容・教材等	総合的評価課題のMYP評価観点（【 】内） および課題概要と評価方法	1. 学習指導要領 観点との対応 2. 道徳内容項目 とのつながり
前期 (4月～9月)	1	1. 文化 2. アイデンティティと関係性 3. リサーチスキル・自己管理スキル	Topic『他国と自国の学校生活について考える』 学習指導要領との関連性【2内容(知識及び技能)より】 ウ語、連語及び慣用表現(ア) 単語(主に学校紹介に関わるもの、助動詞 can, should, have to, need to) エ文、文構造及び文法事項(ア) 文 b 助動詞で始まる疑問文 d 疑問文のうち疑問詞で始まるもの(イ) 文構造 e その他(a) There+be 動詞～(ウ) 文法事項 c 助動詞 e 動詞の時制や相など 現在進行形・過去進行形	「聞くこと」 音声・視覚テキストを分析し、個人的な意見を述べる【A】 「読むこと」 テキストの理解を示し、作者の考えに反応する【B】 「話すこと」 学校生活に関する会話のやり取りをし、コミュニケーションをとる【C】 「書くこと」 外国人生徒への手紙を書きます【D】	1. ①知識・技能-A/B ②思考・判断・表現-C ③主体的に学習に取り組む態度-D 2. C-10
	2	1. コミュニケーション 2. 個人的表現と文化的表現 3. コミュニケーションスキル・思考スキル	Topic『ショー・アンド・テル』 学習指導要領との関連性【2内容(知識及び技能)より】 ウ語、連語及び慣用表現(ア) 単語(主に物を紹介することに関わるもの) エ文、文構造及び文法事項(ア) 文 b 助動詞で始まる疑問文 d 疑問文のうち疑問詞で始まるもの(イ) 文構造 c [主語+動詞+間接目的語+直接目的語] e その他(a) It+be 動詞+～(+for～) +to 不定詞(ウ) b 接続詞	「読むこと」 テキストの理解を示し、作者の考えに反応する【B】 「話すこと」 プレゼンテーションで大切な物を説明する【C】 「書くこと」 プレゼンテーションで紹介した大切な物に関する作文を書く【D】	1. ①知識・技能-A/B ②思考・判断・表現-C 2. C-16
	3	1. つながり 2. アイデンティティと関係性 3. リサーチスキル・コミュニケーションスキル	Topic『海外生活や海外旅行について考える』 学習指導要領との関連性【2内容(知識及び技能)より】 ウ語、連語及び慣用表現(ア) 単語(主に海外生活や海外旅行に関わるもの、比較・最上級を表す形容詞・副詞、仮定を表す接続表現等) エ文、文構造及び文法事項(ア) 文 b 助動詞で始まる疑問文 d 疑問文のうち疑問詞で始まるもの(イ) 文構造 d [主語+動詞+目的語+補語] e その他 (c) 主語+tell, want 等+目的語+to 不定詞(ウ) 文法事項 b 接続詞 f 形容詞や副詞を用いた比較表現 g to 不定詞	「読むこと」 海外生活関連のテキストを理解して、自分の考えを示す【B】 「話すこと」 札幌以外の場所か国を札幌に比べて【C】 「書くこと」 外国の国か日本にある場所に関する作文を書く会話のやり取りをし、コミュニケーションをとる【D】	1. ①知識・技能-A/B ③主体的に学習に取り組む態度-D 2. B-9

後期 (10月～3月)	4	1. 文化 2. アイデ ンティ ティー と関係 性 3. リサー チスキ ル・コ ミュニ ケーシ ョンス キル	Topic『祭りの意味や共通価値観を考える』学習指導要領との関連性【2内容(知識及び技能)より】ウ語、連語及び慣用表現 (ア)単語(主に祭りに関わるもの、動詞のing形、動詞の過去分詞形)エ文、文構造及び文法事項 (ア)文b助動詞で始まる疑問文 d 疑問文のうち疑問詞で始まるもの (イ)文構造 a 主語+動詞+補語 (ウ)文法事項 g to 不定詞 j 受け身	「聞くこと」 ビデオを見て、作者の考えや目的の理解を示す。そして個人的な意見を述べる【A】 「話すこと」 プレゼンテーションでオリジナル holiday を説明する【C】 知事にオリジナル holiday を求める手紙を書く【D】	1. ②思考・判断・表現-C ③主体的に学習に取り組む態度-D 2. C-17
----------------	---	--	---	---	---

※「確率・統計」第2学年D データの活用 (2)不確定な事象の起こりやすさア、イは、昨年度の新型コロナ休校による授業時数への影響から、今年度に関り第2→3学年に変更して学習する。

3年英語 (MYP4 Language Acquisition) 【英語：4単位】

科目のねらい

MYP言語習得の指導と学習のねらいは、以下を達成することです。

- ・ 母語と自己の文化的遺産を維持しながら、付加言語に習熟する。
- ・ 多様な言語と文化的遺産に対する敬意と理解を身につける。
- ・ さらなる言語学習、また学習、就労、余暇などさまざまな実際の場面や、多様な受け手と目的に対応するために必要なコミュニケーションスキルを身につける。
- ・ マルチメディアやさまざまなコミュニケーションの伝達様式などの幅広い学習ツールを使用してマルチリテラシーのスキルを身につける。
- ・ さまざまな文学テキストおよび非文学テキストを鑑賞できるようになり、批判的かつ創造的な方法で意味の構築と解釈ができるようになる。
- ・ 思考、振り返り、自己表現、および他の科目の学習のための原動力として言語を認識、活用し、読み書きの能力を向上させるツールとしても活用できるようになる。
- ・ 言語の本質と、言語的、文化的、社会的要素から成る言語学習のプロセスを理解することができるようになる。
- ・ 言語が使用されているコミュニティの文化的特徴を理解できるようになる。
- ・ 自己の文化や異なる文化をもつ人のものの見方への意識と理解を養うことで、自己やその他のコミュニティへの参加と行動につながる。
- ・ 言語学習への興味、探究、および生涯にわたる関心、また言語の習得における喜びを養う。・ 自分と他者の研究成果を批判的に振り返る力を養う。

目標および評価基準

MYP 評価観点	
A：聞くこと	i. 明示的および暗示的な情報（事実、意見、メッセージ、裏づけとなる詳細）を特定できる。
	ii. 表現技法を分析できる。
	iii. つながりを分析できる。
B：読むこと	i. 明示的および暗示的な情報（事実、意見、メッセージ、裏づけとなる詳細）を特定できる。
	ii. 表現技法を分析できる。
	iii. つながりを分析できる。
C：話すこと	i. 広範囲の語彙を使用できる。
	ii. 広範囲の文法的構造をたいてい正確に使用できる。
	iii. 明確な発音と抑揚を用いてわかりやすく話せる。
	iv. 必要なすべての情報を明確かつ効果的に伝達できる。
D：書くこと	i. 広範囲の語彙を使用できる。
	ii. 広範囲の文法的構造をたいてい正確に使用できる。
	iii. さまざまなシンプルおよび少し複雑な接続表現を使用して、的確な形式で効果的にわかりやすく情報を整理できる。
	iv. 文脈に合うように、受け手と目的をはっきりと意識したうえで、必要なすべての情報を伝達できる。

※ねらい・目標の記述は、IBO発行の「Language Acquisition Guide」に基づいています

関連概念（言語習得の学習を通して、生徒は以下の概念についても考えます）第1～第2段階

1-2	受け手	形式	メッセージ	目的	文脈	機能
	パターン	構造	表現技法	意味	発音	言葉の選択
3-4	受け手	機能	視点	文脈	イディオム	目的
	表現技法	意味	構造	共感	メッセージ	言葉の選択
4-5	主張	共感	目的	受け手	イディオム	スタイル選択
	バイアス	推測	推測テーマ	文脈	視点	ヴォイス

年間計画

時期	ユニット	1. 重要概念 2. グローバルな文脈 3. ATL	学習内容・教材等	総合的評価課題のMYP評価観点（【 】内） および課題概要と評価方法	1. 学習指導要領 観点との対応 2. 道徳内容項目 とのつながり
前期 (4月～9月)	1	1. 創造性 2. 個人的表現と文化的表現 3. 思考スキル、リサーチスキル	Topic『Pop Culture ポップカルチャー』 学習指導要領との関連性【2内容〔知識及び技能〕より】ウ語、連語及び慣用表現(ア)単語(主にポップカルチャーに関わるもの、比較・最上級を表す形容詞・副詞、動詞の過去分詞等)エ文、文構造及び文法事項(ウ)文法事項e動詞の時制及び相など 現在完了形、過去完了形f形容詞や副詞を用いた比較表現	「動画テスト」 Compare and contrast two different videos on the same topic. 【A】 「3-Skills Test」 Watch a music video, read the lyrics and corresponding text about the video, then make a timed written response. 【A・B・D】 「インタビューテスト」 Interviews about their final projects. 【C】	1. ①知識・技能-A/B ②思考・判断・表現-C ③主体的に学習に取り組む態度-D 2. A-4
	2	1. つながり 2. アイデンティティーと関係性 3. 自己管理スキル、コミュニケーションスキル	Topic『Health & Well-being 健康と健康法』 学習指導要領との関連性【2内容〔知識及び技能〕より】ウ語、連語及び慣用表現(ア)単語(主に健康に関わるもの、名詞節の表現に関わるもの等)(ウ)慣用表現 エ文、文構造及び文法事項(イ)文構造 b主語+動詞+目的語のうち、how(など)to不定詞、what等で始まる節のもの d主語+動詞+目的語+補語のうち、(b)主語+動詞+目的語+原形不定詞(ウ)文法事項c助動詞 e動詞の時制及び相など 助動詞などを用いた未来表現 g to不定詞	「動画テスト」 健康に関わる動画を用いたテスト【A】 「テキスト分析」 健康に関わるテキストを分析する【B】 「スキット」 Write and perform a skit giving advice about health. 【C】 「Timed writing」 Write about the skit presentations. 【D】	1. ①知識・技能-A/B ②思考・判断・表現-D ③主体的に学習に取り組む態度-C 2. A-2
後期 (10月～3月)	3	1. コミュニケーション 2. 科学技術の革新 3. 社会性スキル、コミュニケーションスキル	Topic『Disasters & Preparation 災害準備』 学習指導要領との関連性【2内容〔知識及び技能〕より】ウ語、連語及び慣用表現(ア)単語(主に災害に関わるもの)エ文、文構造及び文法事項(ウ)文法事項 a(b)関係代名詞主格、目的格 i現在分詞や過去分詞の形容詞としての用法	「テキスト分析」 テキストを分析する【B】 「災害ポスター制作」 日本にいる外国人のために災害ポスターを制作する【C】ポスターの内容についてインタビュー行う【D】災害のリサーチについて作文を書く	1. ①知識・技能-B ②思考・判断・表現-C ③主体的に学習に取り組む態度-D 2. D-20
	4	1. 文化 2. 公平性と発展 3. 思考スキル、リサーチスキル	Topic『Human Rights 人権』 学習指導要領との関連性【2内容〔知識及び技能〕より】ウ語、連語及び慣用表現(ア)単語(主に人権に関わるもの)エ文、文構造及び文法事項(ウ)文法事項 e 仮定法過去、仮定法過去完了、過去完了、過去完了進行、wishを使った仮定法表現	「聞くこと」 ビデオを見て、作者の考えや目的の理解を示す。そして個人的な意見を述べる【A】	1. ①知識・技能-A 2. C-11

4年英語 (MYP5 Language Acquisition) 【総合英語 I : 5 単位】

科目のねらい

MYP 言語習得の指導と学習のねらいは、以下を達成することです。

- ・ 母語と自己の文化的遺産を維持しながら、付加言語に習熟する。
- ・ 多様な言語と文化的遺産に対する敬意と理解を身につける。
- ・ さらなる言語学習、また学習、就労、余暇などさまざまな実際の場面や、多様な受け手と目的に対応するために必要なコミュニケーションスキルを身につける。
- ・ マルチメディアやさまざまなコミュニケーションの伝達様式などの幅広い学習ツールを使用してマルチリテラシーのスキルを身につける。
- ・ さまざまな文学テキストおよび非文学テキストを鑑賞できるようになり、批判的かつ創造的な方法で意味の構築と解釈ができるようになる。
- ・ 思考、振り返り、自己表現、および他の科目の学習のための原動力として言語を認識、活用し、読み書きの能力を向上させるツールとしても活用できるようになる。
- ・ 言語の本質と、言語的、文化的、社会的要素から成る言語学習のプロセスを理解することができるようになる。
- ・ 言語が使用されているコミュニティの文化的特徴を理解できるようになる。
- ・ 自己の文化や異なる文化をもつ人のものの見方への意識と理解を養うことで、自己やその他のコミュニティへの参加と行動につながる。
- ・ 言語学習への興味、探究、および生涯にわたる関心、また言語の習得における喜びを養う。・ 自分と他者の研究成果を批判的に振り返る力を養う。

目標および評価基準

MYP 評価観点	
A : 聞く こと	i. 明示的および暗示的な情報（事実、意見、メッセージ、裏づけとなる詳細）を特定できる。
	ii. 表現技法を分析できる。
	iii. つながりを分析できる。
B : 読む こと	i. 明示的および暗示的な情報（事実、意見、メッセージ、裏づけとなる詳細）を特定できる。
	ii. 表現技法を分析できる。
	iii. つながりを分析できる。
C : 話す こと	i. 広範囲の語彙を使用できる。
	ii. 広範囲の文法的構造をたいてい正確に使用できる。
	iii. 明確な発音と抑揚を用いてわかりやすく話せる。
	iv. 必要なすべての情報を明確かつ効果的に伝達できる。
D : 書く こと	i. 広範囲の語彙を使用できる。
	ii. 広範囲の文法的構造をたいてい正確に使用できる。
	iii. さまざまなシンプルおよび少し複雑な接続表現を使用して、的確な形式で効果的にわかりやすく情報を整理できる。
	iv. 文脈に合うように、受け手と目的をはっきりと意識したうえで、必要なすべての情報を伝達できる。

※ねらい・目標の記述は、IBO 発行の「Language Acquisition Guide」に基づいています

関連概念（言語習得の学習を通して、生徒は以下の概念についても考えます）第 1～第 2 段階

1-2	受け手	形式	メッセージ	目的	文脈	機能
	パターン	構造	表現技法	意味	発音	言葉の選択
3-4	受け手	機能	視点	文脈	イディオム	目的
	表現技法	意味	構造	共感	メッセージ	言葉の選択
5-6	主張	共感	目的	受け手	イディオム	スタイル選択
	バイアス	推測	推測テーマ	文脈	視点	ヴォイス

年間計画

時期	ユニット	1. 重要概念 2. グローバルな文脈 3. ATL	学習内容・教材等	総括的評価課題のMYP評価観点（【 】内） および課題概要と評価方法	1. 学習指導要領 観点との対応 2. 道徳内容項目 とのつながり
前期 (4月～9月)	1	1. 変化 2. Scientific and technical innovation 3. リサーチスキル・自己管理スキル	「テクノロジー」の概念とその長所と短所を検討します。彼らは過去の使用と現在の社会への影響を検討します。 文法： ・過去形・過去進行形 ・Conditional(2nd・3rd) ・関係代名詞 ・Question tags	「聞くこと」 音声・視覚テキストを分析し、個人的な意見を述べる【A】 「読むこと」 テキストの理解を示し、作者の考えに反応する【B】 「話すこと」 テクノロジーの変化についての会話のやり取りをし、コミュニケーションをとる【C】 「書くこと」 昔に存在している人への手紙を書きます【D】	1. ①知識・技能-A/B ②思考・判断・表現-C ③主体的に学習に取り組む態度-D 2. C-10
	2	1. ものの見方 2. アイデンティティと関係性 3. コミュニケーションスキル・思考スキル	仕事と勉強の将来の目標を説明してください。変化する世界、変化する労働条件、そして彼らがそれにどのように適応するかを考えます。 文法： 未来系— Be going to Will 現在進行形 未来完了形	「読むこと」 音声・視覚テキストを分析し、個人的な意見を述べる【A】 「話すこと」 将来か進路についての面接【C】	1. ①知識・技能-A/B ②思考・判断・表現-C
後期 (10月～3月)	3	1. 創造性 2. 個人的表現と文化的表現 3. リサーチスキル・コミュニケーションスキル	幸せは何ですか？幸福の概念を探求し、感情を表現します。世界中の国々の幸せを比較します。 文法： 比較級、最上級 Must, can, should, have to	「読むこと」 テキストの理解を示し、作者の考えに反応する【B】 「書くこと」 [幸せは何ですか？]について作文を書きます。【D】	1. ①知識・技能-A/B ③主体的に学習に取り組む態度-D
	4	1. 文化 2. アイデンティティと関係性 3. リサーチスキル・コミュニケーションスキル	自由な時間を過ごす方法。 10代の若者としての時間管理/メンタルヘルス。 文法： 現在完了形 Ever/never/been/gone/just/a Iready/yet/for/since 自分の経験についてはなしたり書いたりします。 ブログやメールなどの書き方	「聞くこと」 ビデオを見て、作者の考えや目的の理解を示す。そして個人的な意見を述べる【A】	1. ②思考・判断・表現-C ③主体的に学習に取り組む態度-D

※「確率・統計」第2学年D データの活用 (2)不確定な事象の起こりやすさア、イは、昨年度の新型コロナ休校による授業時数への影響から、今年度に関り第2→3学年に変更して学習する。